

序

近ごろ、地球環境の保全が大きな問題として世界的にも、また国内でも取り上げられるようになりました。

二酸化炭素による地球温暖化、フロンによるオゾン層の破壊、産業廃棄物処理などが特に注目されております。都市型の環境汚染が主として考えられている現在ですが、地球的規模の汚染となると、まだ産業型の環境汚染を重視する必要があると存じます。特に本市のように重工業から先端技術産業まで非常に多種多様な工場が存在するところの公害研究所といたしましては、それに対応する技術と知識の蓄積が必要と思います。そのためには所員同一層の技術の研さんと知識の向上に励み、市民の期待に応えたいと念願いたしております。

ここに昭和62年に行った事業の概要と調査研究の結果を年報第15号としてお届けいたします。ご高覧の上、ご意見ご批判を頂ければ幸いです。

平成元年3月

川崎市公害研究所長

市 橋 正 之